



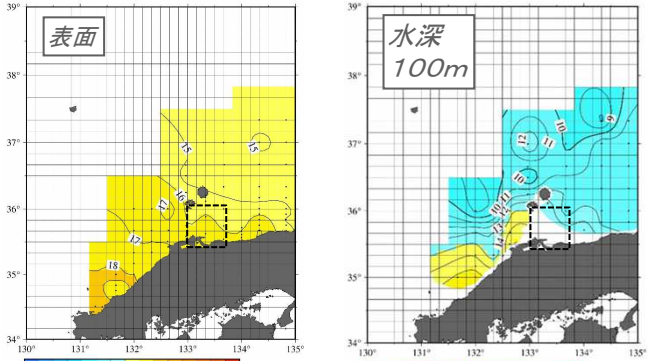
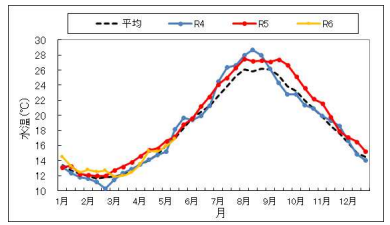
鳥取沿岸の水温

鳥取県栽培漁業センター 沈砂槽

(電話:0858-34-3321)

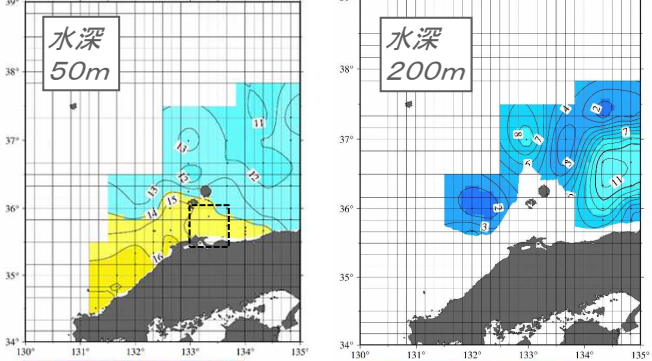
5月上旬 16.9℃

平年より 0.1℃高め



表面
隠岐海峡と鳥取県沖(点線範囲内)の平均水温は15.6℃(13.1～18.4℃)を示しています。
【前年差: +0.23℃、平年(直近30年)差: +0.38℃】

水深100m
平均水温は13.3℃(10.9～15.6℃)を示しています。
【前年差: -0.73℃、平年(直近30年)差: -1.77℃】



水深50m
平均水温は14.6℃(12.4～18.1℃)を示しています。
【前年差: -0.82℃、平年(直近30年)差: +0.057℃】

水深200m
鳥取県東部沖に10℃以上を示す冷水塊があります。

水産試験場

マイワシ稚仔魚調査

マイワシは海洋環境の変動により、資源量が大きく増減することが知られています。鳥取県水産試験場では、マイワシの産卵期である春季に稚仔魚調査を実施し、資源量との関係を把握する試みを行っています。また、採集されたサンプルは、仔魚期の成長や食性に関する研究にも活用されています。

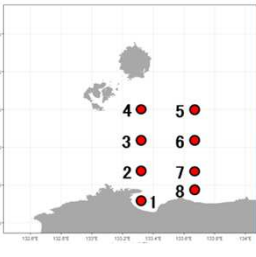
調査は水産研究教育機構、鳥根県と連携し実施しており、現場では試験船「第一鳥取丸」(199トン)を用い、3～5月に同じ8調査点で行っています。ニューストーンネットという表層の稚仔魚を採集する調査漁具を使用し、漁具が安定するように船速3ノットで、海面付近を10分間水水平曳します。

近年の採集動向を見てみると、4月に比較的多くのマイワシ稚仔魚が採集される傾向がみられており、マイワシの他にもカタクチイワシやサバ属などの小型浮魚類が採集されています。

今年は3月11～12日、4月15～16日に調査を実施しました。まだ、詳細な結果は出ていませんが、3月の調査ではあまりみられなかったものの、4月調査では一部の調査点でいわし類と思われる仔魚の入網が確認されました。

近年、日本海におけるマイワシの資源は増加傾向にあり、境港でも多くの水揚げがみられますが、資源状態の変動が激しいとされています。現場ではニューストーンネット調査の他にもノルパックネットを用いた春季の卵稚仔調査等も実施しています。今後もマイワシの産卵～加入までのモニタリングを継続することで、資源量との関係性の把握に努めていきます。

ニューストーンネット調査測点 (鳥取県調査点)



採集されたいわし類の仔魚 (et3、水深約70m)

令和6年4月から下記2社の広告を1年間掲載することになりました。

いつの時代も、技術とサービスをもって水産業・漁業の皆様を支援してまいります

西日本ニチモウ株式会社

本社 山口県下関市小月小島2丁目3-17 〒750-1136
電話 083-282-4041(代表) FAX 083-282-0424
境港営業所 鳥取県境港市栄町92番地1 〒684-0006 電話 0859-44-0475 FAX 0859-42-6330

潮に夢を

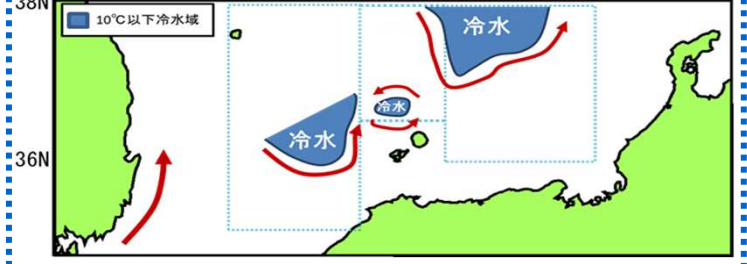
共和水産株式会社

代表取締役 橋津 寛

〒684-0006 鳥取県境港市栄町65番地
TEL:0859-44-7171(代) FAX 0859-42-6530

5月上旬の水塊配置と対馬暖流

鳥根沖冷水 隠岐諸島北方 山陰・若狭沖冷水



鳥根沖冷水域	鳥根沖N35°50'以北に冷水塊が認められます。
隠岐諸島北方の冷水域	隠岐諸島北西N36°20'に冷水塊が認められました。
山陰・若狭沖冷水域	鳥取沖N36°50'以北に冷水域(10℃以下)が認められます。
対馬暖流の流路	主流は朝鮮半島東岸に沿って北方に向かい、一部が鳥根沖の冷水域に沿って北方に流れると考えられます。また、隠岐北方沖の冷水域周辺には反時計回りの流れが生じると考えられます。主流の一部は、隠岐諸島北方と山陰・若狭沖冷水域に沿って流れ、北東方向に流れると考えられます。

水産振興課・漁業調整課

～今年も天然岩がきの季節が到来！～

夏の味覚である「天然岩がき」の初出荷が早い所で6月1日から始まります。鳥取県では食の安全性の観点から、毎年5～7月の月1回、県内各地の漁業者に採獲してもらい、ノロウイルスおよび貝毒の検査を実施しています。5月の検査ではノロウイルス、貝毒ともに陰性でした。

●今漁期の採獲採取漁協

海域	ノロウイルス	貝毒
東部	福部支所	福部支所
中部	青谷支所	青谷支所
西部	中山支所	中山支所
美保湾	米子市漁協	



県水産振興課では、報道機関向けPRイベントのサポートや地魚料理動画の公開により、県産水産物の消費拡大・魚食普及を図っています。今年、YouTube「とっとり動画ちゃんねる」で地魚料理動画の短縮版を製作し、岩がきの殻の開け方・料理動画についても公開しています。約1分ほどの動画になっており、調理の片手間にご覧いただけますので、岩がきを調理される際はぜひご覧ください。

今後も各関係者とより一層協力し、安心安全かつ美味しい鳥取県の岩がきをPRしていきます！

栽培漁業センター

サケ・マス稚魚のワクチン接種の季節が到来

県内のサケ・マス類の内水面養殖場では、1月頃に卵から孵化した稚魚のピブリオ病のワクチン接種が例年5月に行われています。ワクチンは健康な魚に接種しなければ効果がないため、接種前に栽培漁業センターが摂餌活性や病気の有無を診断し、健康であることを確認しています。

約半年で5～6gに成長した稚魚をかごに丁寧に取り上げ、短時間ワクチン液に浸す方法で接種します。稚魚はピブリオ病に対する免疫を獲得し、その後、さらに半年程かけて沖出しサイズまで育てられます。



約半年で5～6gほどに元気に育った稚魚



サケ科魚類のピブリオ病ワクチン接種風景

稚魚をかごに入れてワクチン液に2分間浸します。